

「第7回産業日本語研究会・シンポジウム」の開催について

平成28年1月

産業日本語研究会世話人会

顧問：長尾 眞（京都大学名誉教授）

代表：井佐原 均（豊橋技術科学大学）

辻井 潤一（産業技術総合研究所）

橋田 浩一（東京大学）

隅田英一郎（情報通信研究機構）

山口 昌也（国立国語研究所）

潮田 明（元奈良先端科学技術大学院大学）

横井 俊夫（日本特許情報機構特許情報研究所）

河合 弘明（日本特許情報機構）

開催趣旨：

人工知能と産業日本語の出会い

～先進的グローバル・ビジネスへの展開と躍進～

市場のグローバル化を背景に、我が国企業の海外展開が加速化しており、グローバル・ビジネスの場面においても産業・技術文書（特許明細書、技術論文、技術説明書など）の役割は、重要性を増しています。特に、情報発信力の円滑化、知的生産力の効率化、情報抽出・分析力の高度化を実現するために、産業・技術文書の正確な記述は欠かすことができません。

産業日本語研究会では、以上のような背景のもと、産業分野・科学技術分野における情報発信力や知的生産性の飛躍に貢献するとともに、我が国産業界全体の国際競争力の強化に資する「産業日本語」をテーマに、各種研究や提言に継続的に取り組んでいます。

また、平成22年より毎年シンポジウムを開催し、特許、法令工学、翻訳、テクニカルコミュニケーション、データマイニング、システム開発など多分野の取組を紹介し、産業日本語の必要性につき議論を重ねてまいりました。

本年の「第7回産業日本語研究会・シンポジウム」では、産業日本語が人工知能と出会うことで、更なる展開と躍進を目指します。我が国企業によるグローバル・ビジネス領域での言語処理技術や人工知能技術の先進的な適用事例を紹介し、産業日本語に期待される重要な役割につき議論できる場といたします。

研究者の皆さまに加え、産業界からも多数ご参加いただけますことを、お待ち申し上げております。

今後も引き続き、産業日本語研究会の活動へのご支援ご協力を、よろしくお願いいたします。

事務局担当：高度言語情報融合フォーラム（ALAGIN）事務局